

「脳科学の知見に基づいた新しいゲーム性の開発」

メディアにおける身体の拡張に着目した 新しいゲーム性の開発

佐藤 雅彦

(東京藝術大学 大学院映像研究科 教授)

石川 将也

(有限会社 トピックス 研究員)

山本 晃士 ロバート

(ユーフラテス 有限会社 研究員)

1. はじめに

本研究では、脳科学・認知科学の視点に基づいた、テレビゲームにおける従来存在しなかった新しいゲーム性の開発を目的に、受け手にそれまで感じたことが無い「新しい表象」を感じさせる表現の研究開発を2006年より行っている。本研究発表では、2009年度の研究『**新しい身体表象を「既存のメディア」で発現させる表現の開発**』によって得られた研究成果と、開発した表現を発表する。

2. 新しい身体表象を「既存のメディア」で発現させる表現の開発

2008年度の研究「人の視覚認知・解釈の能力に着目した新しいゲーム性の開発」で行った成果であるメディア技術と映像を用いた表現の展示会『君の身体を変換してみよ 展』において私達は、「展示」という綿密に設計された状況の中で、認知科学の知見と、現代のテクノロジーを組み合わせることで、鑑賞者の中にそれまでに感じたことのない新しい身体表象を生むことが可能であることを確認した。



図1『君の身体を変換してみよ 展』全景

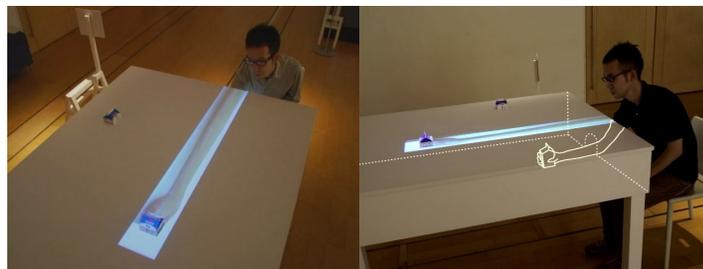


図2『君の身体を変換してみよ 展』の一作「伸びる腕」(ユーフラテス 作)
映像と触覚により、あたかも自分の腕が伸びたような表象が生まれる。

2009年度はさらに次の段階として、展示に限らず、テレビやゲーム機といった「**既存のメディア**」においても、身体性に注目することで、受け手にそれまでに感じたことのない新しい表象を「自分自身のこととして」感じさせる表現の開発を目標とした。それによって、本研究の最終目的である「新しいゲーム性」を見いだすことに繋がると考えたためである。

具体的には、テレビというノンインタラクティブなメディア上で、これまで得られた認知科学と、表現の知見を用いた、映像コンテンツの開発を行った。昨年10月の研究発表でも発表したとおり、その成果として『とうめい人間X』と『ピタゴラ拳法 だんだんだん!』という2作品を開発し、佐藤雅彦、並びにユーフラテスが制作に携わっているNHK教育テレビの幼児教育番組『ピタゴラスイッチ』において放送した。

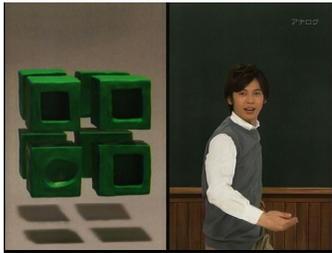


図3 『ピタゴラ拳法だんだんだん!』



図4 『ピタゴラ拳法だんだんだん!』
をする子供の様子。

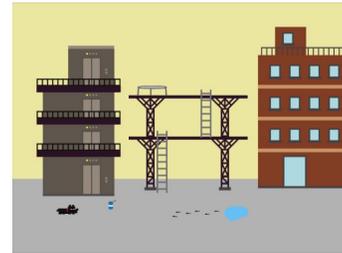


図5 『とうめい人間X』

テレビ番組『0655』『2355』における成果

本研究グループ（佐藤雅彦＋ユーフラテス）では、さらに認知科学の知見を基にテレビメディア上で受け手に新しい表象を生む映像表現の開発を行っている。その成果は現在、2010年3月29日より、NHK教育テレビで放送が開始された『0655』『2355』という2つの番組の中で放送している。『0655』『2355』は、毎月曜日～木曜日、朝の6時55分と、夜の23時55分から放送されている5分間のミニ番組で、佐藤雅彦とユーフラテスが制作を行っている。

この番組は、毎日きまった時間に流す事で、日本人の生活のリズムを刻むことを目的とした番組である。また、ユーフラテスによって開発された映像表現を放送することによって、既存のテレビ番組とは全く違う、新しい映像のブランドを創り出す試みでもある。中でも、『0655ID』『2355ID』と呼ばれる、番組のジングル的なショートコーナーには、本研究で得られた知見に基づいて創られた実験的な映像表現が多数登場し、視聴者に新鮮な驚きをもって、迎え入れられている。本成果発表会では、2009年度の研究のさらなる成果として、これらの本研究の中から生まれた『0655ID』『2355ID』を紹介する。

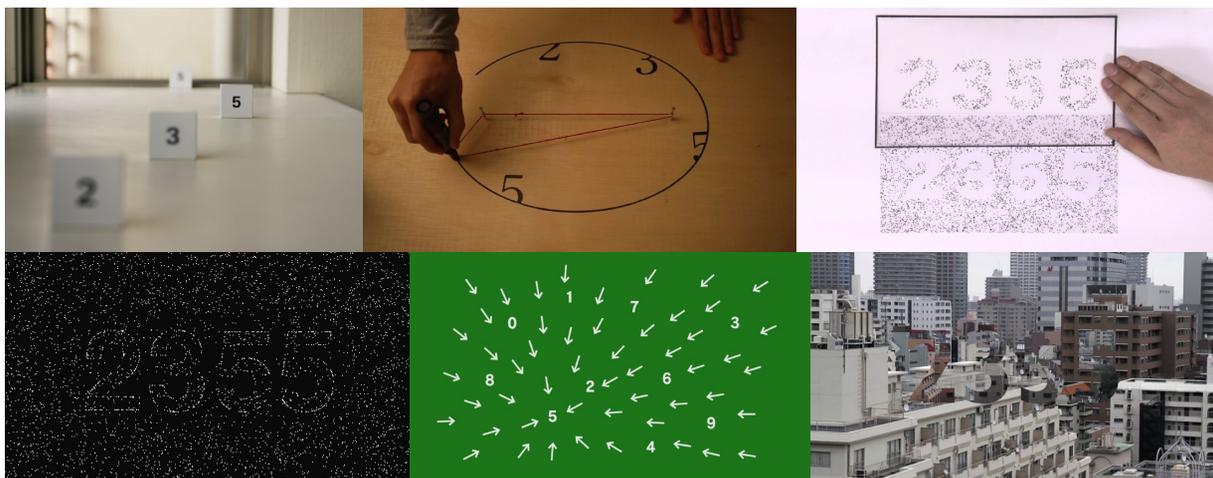


図6 『2355・0655 ID』(上段左から「PINTO」「楕円の補完」「ずれるドット」。下段左より「ランダムドット」「矢印」「実写のマスク」)

研究業績

- [1] 映像作品 『『ISSEY MIYAKE A-POC INSIDE.』(佐藤雅彦＋ユーフラテス、2007年)
2007年 第86回ニューヨークADC賞 GoldPrize および2007年(平成19年度)文化庁メディア芸術祭 アート部門 優秀賞を受賞。
- [2] 体験型作品 『計算の庭』(2007年、六本木クロッシング2007にて展示)
- [3] 展覧会 『君の身体を変換してみよ展』(NTTインターコミュニケーションセンター、2008年7月12日～8月31日)
2008年(平成20年度)文化庁メディア芸術祭 エンターテインメント部門 優秀賞を受賞。
- [4] 書籍 『差分』(佐藤雅彦, 石川将也, 菅俊一 著、美術出版社刊、2009年)